

2022年度ICT利用による教育改善研究発表会  
受賞者決定

## 1. 本発表会の趣旨

本発表会は、全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT活用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的とする。優れた発表に対しては、文部科学大臣賞（最優秀賞）、協会賞（優秀賞）、奨励賞を授与し、その教育業績を顕彰するとともに、本協会ホームページに掲載、公開する。

本発表会は今年度で30回目となり、これまでに文部科学大臣賞5件、私立大学教育協会賞33件、奨励賞53件、佳作4点を顕彰してきた。なお、本発表会では毎年度、文部科学省の後援と文部科学大臣賞の交付が認められている。

## 2. 選考方法および結果

2022年度のICT利用による教育改善研究発表会は、今年度も引き続きオンラインによる発表会となり、発表者全員に13分による発表映像の提出を事前に求め、8月25日に会場から43件の研究発表を配信するとともに、質疑は各発表者からオンラインで実施しました。発表会終了後、1次選考を行い、2次選考の対象8件を選考しました。発表会の視聴参加者は、発表者を除き105名（48大学、賛助会員4社）でした。その後、9月25日に2次選考を行い、1次選考の発表収録ビデオ及び発表会論文を精査して、1件の授賞を決定しました。表彰式は、11月30日（水）に本協会の第35回臨時総会の冒頭に行い、文部科学省専門教育課の鈴木企画官による来賓挨拶、本協会の向殿政男会長による発表会の概要説明と本年度結果報告の後、奨励賞の表彰楯の授与を行った。受賞者は次の通り。

## 2022年度ICT利用による教育改善研究発表会 受賞者



左から文部科学省専門教育課 鈴木企画官、  
受賞者の大阪夕陽丘学園短期大学 治京氏と本協会 向殿会長



治京玉記 氏



山崎明宏 氏



文部科学省 鈴木企画官



本協会 向殿会長

## 奨励賞

- 「栄養士養成課程におけるAIとICT活用による教育効果の向上について」  
大阪夕陽丘学園短期大学 治京玉記氏、山崎明宏氏

## &lt;授賞理由&gt;

本研究は、栄養士養成に求められる短期大学生の基礎学力の向上を目指して、入学前教育にAIドリルを導入し、ログイン履歴のAI解析（「つまずき判定」）で数学・理科に対する学力の不安解消を行っている。その上で、リメディアル教育（食物基礎科学の数学・化学）に1人1台のPC端末を用いたハイフレックス型オンライン授業、クリッカー・チャット・e-ラーニングを活用した双方向型授業、学生同士によるTBL型授業を組み合わせることで、基礎学力の向上が認められている。さらに、栄養士必須専門基礎科目のコアである生化学において、理解度の向上と大学が規定する受験資格喪失者の減少に繋がっている授業改善の取組みである。

これらの取組みは、新入生の基礎学力や理解力低下が多く大学の課題ともなっており、組織的なアダプティブラーニングを試みた本研究は一つの有力な対応策を提示するものと言えよう。